

経済 の安全保障

熊本には多くの半導体関連企業が立地しています。さらに11月には、台湾の半導体製造大手TSMC社の日本初の工場が菊陽町に建設されることが決定しました。この国家的プロジェクトでもある新工場建設計画(※)を含め、更なる半導体産業の集積を進め、その波及効果が県内全域に広がるよう取り組みます。

※2022年に工場建設に着手し、24年末までに生産開始予定

県内の主な半導体関連企業



提供:東京エレクトロン九州株式会社
東京エレクトロン九州(株)



提供:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)熊本テクノロジーセンター



提供:三菱電機株式会社
三菱電機(株)パワーデバイス製作所熊本事業所



提供:ルネサスエレクトロニクス株式会社
ルネサスエレクトロニクス(株)錦工場

半導体産業集積強化推進本部の設置



情報共有や課題解決に向けた取り組み等に県庁全部局を挙げて取り組むため、知事をリーダーとする「半導体産業集積強化推進本部」を設置しました。

感染症 に対する安全保障



現在、県も出資するKMバイオロジクス社が新型コロナウイルスの不活化ワクチンの開発に取り組んでいます。インフルエンザワクチンと同様の手法で製造される不活化ワクチンは、実績も十分あり、12歳未満の子どもたちへの接種も期待されます。

不活化ワクチン

感染力をなくした病原体や、病原体を構成するタンパク質からできており、接種することで病原体に対する免疫ができるものです。



不活化ワクチンの研究を行うKMバイオロジクス社
熊本発のワクチンが完成すれば、熊本から全国へ、さらには世界へ国産ワクチンを安定的に供給し、本県は、感染症対策で大きな役割を果たすことができます。

熊本の強みを生かした 「5つの安全保障」

熊本が有するポテンシャルを最大限に生かすことで、地方創生を実現し、50年後、100年後の熊本の更なる発展につなげます。

私からのおたよりです!



熊本県知事 蒲島郁夫

食料 の安全保障

農地集積や担い手支援の取り組みを強化し、農産物を安定的に生産するとともに、グリーン農業の推進など、環境を守りながら、食料供給県としての役割を担っていきます。

農業経営のバトンタッチ



農業経営を安定的に継承し、多くの担い手を確保するため、今年6月に「くまもと農業経営継承支援センター」を設立しました。センターでは、後継ぎにお悩みの農家の方、経営を引き継いで農業を始めた方への取り組みを支援しています。

<問い合わせ先>
一般社団法人熊本県農業会議 ☎096-384-3333

くまもとグリーン農業

土づくりを基本として化学肥料や農薬を減らした、環境にやさしい「くまもとグリーン農業」を推進しています。この取り組みを通して、肥沃(ひよく)な土を育み、豊かきれいな地下水と自然環境を守ります。



「くまもとグリーン農業」のシンボルでもある農夫モン

©2010熊本県くまモン

環境 の安全保障

熊本の豊かな自然環境を守り、地球温暖化を食い止めるため、「2050年県内CO2排出実質ゼロ(ゼロカーボン)」を目指しています。

※ゼロカーボンとは、CO2排出量を可能な限り削減した上で、やむを得ず排出される分を植物や森林が吸収することなどで相殺し、実質ゼロになる状態にすることです。

地球温暖化対策の必要性

- 今以上の対策を行わなければ...
- ・猛暑日、熱帯夜が増加
 - ・豪雨被害が頻繁に発生

私たちの暮らしに
大きな影響



今年8月にも梅雨末期のような豪雨が発生

ゼロカーボンへできることから一歩ずつ

ゼロカーボン(CO2削減)のためには県民一人一人の取り組みが重要です。快適な暮らしや光熱費節約にもつながります。

HOP 今できることを

- 電気は小まめに消して照明はLEDに
- 買い物は使う分だけ、すぐに食べるなら手前から
- リサイクルのため、ごみの分別を徹底



LED照明で省エネ

STEP さらに一歩

- 家電を買い替える際は省エネタイプを
- 太陽光発電の設置と住宅の高断熱化
- 再生素材を利用した商品を選べるだけ選ぶ



二重窓と内窓で冷暖房の設定温度を抑える

JUMP ゼロカーボンを日常に

- マイホームをゼロエネルギーハウスに
- 電気自動車、燃料電池自動車への買い替え



太陽光パネルで電力を自給

災害 に対する安全保障

熊本は、南海トラフ地震発生時の現地対策本部など、九州全体の広域防災拠点の役割を担っています。新たな防災センターの整備や、「命の道」となる中九州横断道路や九州中央自動車道の整備など、防災力の強化に取り組んでいます。

新たな 防災センター

防災センターの防災拠点施設としての機能や耐震性等の確保・強化および熊本地震で被災した県央広域本部庁舎の復旧のため、県庁敷地内に県央広域本部・防災センター合築庁舎(仮称)を建設中です。



2023年度利用開始予定の合築庁舎(手前)のイメージ図

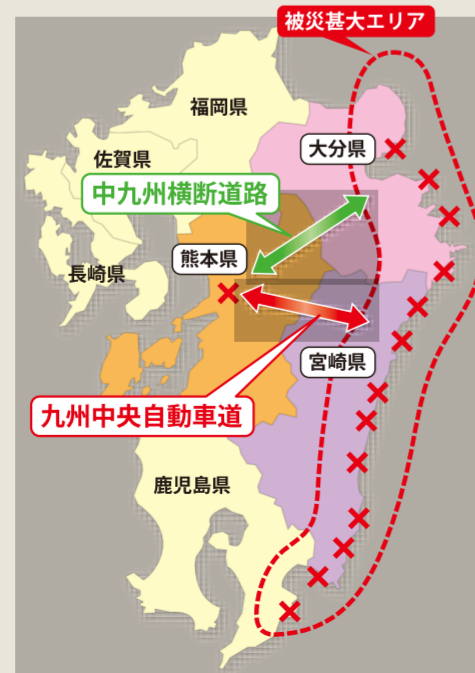
命の道でつなぐ

中九州横断道路

九州中央自動車道

広域応援部隊等の迅速かつ円滑な移動
大量かつ安定的な物資輸送

九州の横軸の更なる強化へ



南海トラフ地震発生時の被災甚大エリア